

2022 年度短期派遣プログラム（オンライン）－英語研修－ 参加報告書

所属学部/研究科	農学部
課程・学年	学部・2年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 173,000 円
実施期間	8月8日（月）～8月26日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	0.参加していない
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
<p>社会人になってからも英語を使ってグローバルに活躍できる人になりたいと考え、そのために英語力を今のうちに向上させたいと考えたので短期留学に興味をもった。今回はオンラインとのこと現地で体験が出来ないのが残念であったがそれでも参加することに意義があると思ったから。</p>	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
テストと講義のためにリスニングの勉強は続けていました。	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	20名以上

学習時間/日	3~4 時間
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	<p>基本的に平日は毎朝講義があり、その後や夜に現地の学生とゲームをしたり話したりするコミュニケーションの時間が設けられていました。講義はリスニングの教材を聞いて問題に答えるものが多く、週に一度か二度はグループでプレゼンテーションをする授業がありました。講義時間は平均して 3 時間ほどですが、プレゼンテーションがあるときは他の学生と zoom など授業外に打ち合わせをしたり自分で資料を作成したりしなければならぬのでそれに 2 時間ほどかかりました。課題は 2~3 分ほど先生が設定したテーマについて話して音声を提出するというものでした。</p>
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	<p>先生も熱心に指導して下さる上に学生もやる気があり、授業内での発表も活発でとても内容の濃い時間であったと思います。日本の講義ではどうしても学生は黙って先生のみが話すという形式の講義が多いと思いますが、このプログラムはそうではなく双方向性が保たれていると感じました。ただ、オンラインというのは障壁も多く、他の学生と連絡を取るときに zoom に入れないメールが届かないファイルが送れないなどのトラブルも発生し、現地で会ってグループワークをするよりも難しかったと思います。</p>
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	<p>参加学生はメアドを各自交換することで連絡は適宜とれていました。</p>

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	4.難しかった
学習効果	4.まあまあ効果が感じられる

プログラムで得られた成果 ※300 字以上

(英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)

先生や学生と毎日英語で話しているのでスピーキング力は一番成長を感じられたと思います。英語の授業といっても日本で受けたところまで英語を個人が話す機会はないので、間違いを恐れずにどんどん話すという経験は自分の中で大きかったです。自分の思っていることをしっかりと伝えられるかなど自分の英語力に不安はありましたが、日が進んでいくうちに英語で話せることが増えてスピーキングに自信を持つことが出来ました。日本ではリーディングが強化されると思いますが、やはり留学の強みはリスニングとスピーキングの強化だと改めて思いました。現地の学生との交流も楽しく、ゲームをしたりオンラインで大学のキャンパスツアーをやったりと向こうの雰囲気を感じられて良かったです。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

英語力は間違いなく鍛えられるのでおすすめです。ですが今後現地に行けるプログラムがあるならばそちらの方が学ぶものは多いかなとも感じました。

2022 年度短期派遣プログラム（オンライン）－英語研修－ 参加報告書

所属学部/研究科	工学部
課程・学年	学部・3年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 179,000 円
実施期間	8月8日～8月26日
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	4.有意義だった
応募・申込手続き	3.どちらともいえない
参加を希望した理由 ※100 字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	<p>一つは、英語のリスニング及びスピーキング能力を上げたかったから。</p> <p>もう一つは、留学はしてみたかったが、バイトの関係で海外には行くことができないが、オンラインであれば気軽に参加できると考えたからである。</p> <p>オンライン留学というものがどんなものか見ておきたかったというのも理由の一つに入る。</p>
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	<p>マギル大学がどのような大学であるかについては軽く調べた。</p> <p>プレースメントテストはヘッドセットを用意したくらいで、対策等は一切行わなかった。</p>

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
----------	---

クラス参加人数	20名以上
学習時間/日	3~4時間 授業約2時間+自習1~2時間
授業・アクティビティの概要 ※200字以上 (1日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
<p>午前中に2時間の授業が月曜日から木曜日まであり、各日で課題が課された。授業そのものの内容は、カナダの動物や食べ物、言語についての紹介であった。課題内容は2分ほどのスピーキング・4~5分ほどのリスニング・プレゼンの準備などであった。課題のレベルはそこまで分量が多くはなく比較的短時間で終わることができる。</p> <p>Conversation Partner Timeと呼ばれる時間が週に4回ほどあり、一つあたり1時間もしくは二時間ほどである。マギル大学やモントリオールにある建造物の紹介やゲームなどをして楽しんだ。建造物の紹介は現地学生が実際の場所を歩きながら Zoom で映し別の学生が紹介するというシステムであった。</p> <p>金曜日は授業の代わりに Pronunciation Clinic と呼ばれる発音の授業であった。シラブルや発音の違いなど基本的なことを学んだ。</p>	
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	
<p>講師はとても親切・丁寧で英語も聞き取りやすかった。</p> <p>生徒との交流に重きを置いており比較的積極的な姿勢が求められる。</p> <p>プレゼンをする際、生徒とメアド等の交換を行うことになるがオンラインであり中国生徒もいたこともあり、難があった。</p> <p>オンラインであるため、通信状況が悪く音声が聞きにくいことも多々あった。特に建造物紹介においては Zoom が見にくく感じることもあった。自分的に大きな問題はなかった。逆にとても良かった。</p> <p>発言に詰まったりしても咎めることや急かすことは一切なく自分らが話し終わるまで待ってくれたので、話すことに億劫にならずにどんどん自分からの発言をしていくことが重要だと感じた。</p>	
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	
<p>常にテクニカルサポート(課題や授業の問い合わせ)はしっかりとしており、現地学生チューターも楽しく盛り上げてくれた。</p> <p>一度だけ上記の Conversation Partner Time が現地学生の都合で無くなったことがあった。</p>	

4 プログラム参加を振り返って

満足度	4.やや満足
難易度	2.あまり難しくなかった
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	
<p>リスニング力に関しては、聞き方の工夫などを教えてもらい日々聞いていたこともあり、多少は上がったと感じている。今後も TED など英語で話されているものなどを聞いてリスニング力向上につなげていきたいと感じた。</p> <p>スピーキングに関しては、以前よりも自信がつき英語を話すということにネガティブな印象はなくなった。特に細かい文法のミスなどがあっても理解してもらえたことにより、積極性が何よりも重要だと感じた。</p> <p>異文化交流という観点では、Conversation Partner Time においてMontrealの観光名所などを紹介してもらい、授業でカナダ英語の特徴などにも触れた。</p>	
今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス	
<p>このプログラムでは積極的な発言が求められる。最初は話しにくいかもしれないが、自分から発言していくことで、このプログラムを有意義にすることができる。オンライン留学の一環と言ってもそこまで硬いわけではない。気軽に受けることができる。特に1・2回生の参加を勧めたい。英語力がかなり要求されることはないため、今の段階で英語に自信がある人は物足りないかもしれないが、1・2回生で英語のスピーキングやリスニング能力を現地の人と交流して高めていきたいという人にとっては、向いていると感じる。楽しさメインだと考えてよいと思われる。</p> <p>繰り返すが、積極性が命。自分からどんなことも遠慮せずに発言していくことがこのプログラムを楽しむことになる。</p>	

2022 年度短期派遣プログラム（オンライン）－英語研修－ 参加報告書

所属学部/研究科	農学部
課程・学年	学部・2年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 173,000 円
実施期間	8月8日（月）～8月26日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	4.有意義だった
応募・申込手続き	3.どちらともいえない
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
<p>大学院入試のために TOEFL テストを受験しようと思っているが、スピーキングとリスニングが自分の課題であると感じていたため、この2技能を向上させたかった。特にスピーキングはとにかく喋ることが重要であり、否が応でも英語を喋らなければならない環境になる留学をしてみたいと思った。コロナの関係で現地に行くプログラムには抵抗があったので、オンライン留学はちょうど良いと判断した。また、カナダは私の高校の英語の先生の出身地であり、マギル大学はその先生が行きたかった大学だったので、本プログラムは私と不思議な縁があると確信し、選択に至った。</p>	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
<p>今の自分のありのままの英語力でどこまで通用するかを確かめたかったので、プログラムまでに特別英語を聞いたり喋ったりということはしなかった。</p> <p>オンライン環境の観点では、自分の発言が相手に聞こえやすいよう、ヘッドセットを購入した。(ただしずっとつけていると耳が蒸れて気持ち悪かったので、結局プログラム後半はヘッドセットを外して参加していた)</p>	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input checked="" type="checkbox"/> その他（アカデミックディスカッション）
----------	--

	ン)
クラス参加人数	20 名以上
学習時間/日	3~4 時間
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
<p>月曜日は日本時間の午前 8 時 30 分から 2 時間授業、火曜日は日本時間の午前 8 時 30 分から 9 時 30 分まで、現地学生によるオンラインカナダツアー（マギル大学や、モントリオールの町、歴史的建造物などを現地学生にバーチャルで案内してもらった）を行った後、2 時間授業。水曜日は月曜日と同じく午前 8 時 30 分から 2 時間授業があったのに加えて、午後 8 時から 10 時まで現地学生と喋る “Conversation Partner Time” が設けられていた。木曜日と金曜日は午前 8 時 30 分から 2 時間授業をやった後、1 時間 “Conversation Partner Time” が設けられた。金曜日の授業内容は “Pronunciation Clinic” という発音矯正の授業だった。</p> <p>課題は主に 3 つある。1 つ目は “Speaking Journal” という、「自分が通う大学とマギル大学の授業スタイルの違いについて」「この 1 週間を通して英語を喋ったり聞いたりすることに自信が持てるようになったか」「ディスカッションをしてみて感じたこと、大切だと思ったこと」などのテーマに対して 2 分間スピーキングをするもの。2 つ目は、その週の授業で取り上げた内容を一つ選び、3 分間で要約してスピーキングをする “Listening Retell” というものだった。3 つ目は、オンラインで配布されるリスニング問題（レベルが 1 から 3 までである）を解いて提出するというものだった。私の場合、課題をこなす時間はおよそ 3 ~ 4 時間 / 日であったが、その日のうちに終わらず、週末にかけて取り組んでいる参加学生もいた。また毎週木曜日にプレゼンをしなければならないが、その内容が前日の水曜日に公開されるため、準備時間が非常に短く、日付が変わるギリギリまでプレゼン資料を作成していたこともあった。</p> <p>1 週目ではカナダの動物、2 週目ではカナダの食文化、3 週目ではカナダの言語（カナダ英語とアメリカ・イギリス英語との違い）を学び、1・2 週目のプレゼンは授業のテーマに即したものを各グループが調べて発表するという内容だった。3 週目のプレゼンは「ペチャクチャプレゼン」というもので、テーマは自由であるが、20 枚のスライドをそれぞれ 20 秒で紹介するという制約があり、またスライドにはなるべく文字を入れず、口頭で説明するように求められた。3 週目はまた、グループに分かれてアカデミック・ディスカッションを行った。事前準備はせず、授業中にテーマ決めから自分の意見を考え、ディスカッションするところまで全て行った。</p>	
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	
<p>日本と違い、双方向の授業であり、最初は自分の意見を表明することに抵抗感があったが、日が経つにつれて外国の授業の雰囲気慣れ、積極的に発言することができるようになった。日本の大学では、学生の発言を否定してくる先生も一部いるが、本プログラムの講師の方は決して分け隔てをせず、たとえ拙い英語であったとしても生徒の発言を最後まで聞いて理解しようとしてくれた。（これが特に印象に残ったことである）加えて、講師は絶えず笑顔であり、こちらも自然と元気になった。他の参加学生との間でも、「君の意見、良いね！」という感じで他者を受容しようという雰囲気があり、居心地は大変良</p>	

かった。グループでプレゼンの準備をするときには日本語の方がスムーズに進むのだが、中国人学生もいたので、英語でコミュニケーションを取るよう心がけていた。参加中のトラブルはなかった。

参加学生のサポート体制について

(プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)

インターネット接続など技術的なことに関しては、テクニカルスタッフと連絡が取れる体制が敷かれていた。授業を担当してくださった先生と連絡が取れるようになっており、授業や宿題等に関する質問がいつでもできるようになっていた。プレゼンをするグループメンバーとメールアドレスを交換しており、個人的にzoomを開いてプレゼンの打ち合わせを行うこともした。

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	4.難しかった
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
プログラムで得られた成果 ※300字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	
<p>正直英語のスピーキング力やリスニング力が向上したとは言い難いが、自信を持って英語で喋ることができるようになった。間違いを恐れてはいけい、多少のミスがあってもいいからまずは挑戦してみる、その上で間違いはその都度修正していけば良い、という心の持ちようを学んだ。また、今後のスピーキング学習やリスニング学習の参考にすべきコツをいくつか教えてもらった(そのコツは自分で参加して確かめてほしい)。</p> <p>異文化理解ということに関しては、カナダ文化を詳しく知ることができた。多様な生態系、伝統的な食事(油っこそうではあるが)、豊かな自然など魅力的なものが多く、好奇心を刺激された。特にオンラインモンリオールツアーで紹介された歴史を感じさせるスポットは是非この目で直接楽しみたい。自由に世界を行き来できるようになればモンリオールに絶対に行ってみたい。</p> <p>またプログラム終了時に現地学生とSNSアカウントを交換し、世界とつながることができた。</p> <p>現地学生の一人は私にポストカードを送ってくれるようなので、私も日本の美しい景色が印刷された絵葉書を送ってみようと思っている。</p>	
今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス	
<p>オンライン留学は、こういうご時世の中で手軽に英語力を鍛えることができる良い取り組みだと思うので、どんどん参加してみてください。ただし、参加するだけではリスニング・スピーキング力は上がらないので、プログラム終了後も継続して英語に触れていく必要があると思います。そして、プログラム参加中は「積極的」という言葉を心がけてください。たとえ心の中で思っていることがあっても、意見を表明しなければ始まらないのが外国のスタイルです。最初は緊張するかもしれませんが、他の受講生も同じ気持ちだと思うので、自分の殻を破ってみてください。なお、友達はそれなりにできると思います。基本的にブレイクアウトルームで交流し合うので、ほとんどの人と顔馴染みになります。他の大学の学生さんと交流することで新たな発見があるかもしれませんよ。色々不安もあるかもしれませんが、現地学生やスタッフの</p>	

方々は皆優しく接して下さいますし、3週間は長いようで終わってみればあっという間です。是非挑戦の一步を踏み出してみましよう！

P. S. ほぼ一日中パソコンの画面と向き合うことになるので、ブルーライトカット眼鏡は必須です。肩こりもひどくなるので覚悟しておいてください（笑）。

2022 年度短期派遣プログラム（オンライン）－英語研修－ 参加報告書

所属学部/研究科	文学部
課程・学年	学部・1年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 173,000 円
実施期間	8月8日（月）～8月26日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	5.とても有意義だった
応募・申込手続き	5.とてもわかりやすかった
参加を希望した理由 ※100 字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	長期留学の準備段階として短期プログラムに参加したいと考えていた。本当は現地に渡航するプログラムに参加したかったが、新型コロナの感染動向が不透明だったことと、比較的受講料が安く抑えられたことからオンライン留学を選んだ。このプログラムにした理由は、個人的に日にちの都合が良かったためと、『赤毛のアン』が好きなこともあり以前からカナダに興味を持っていたためである。
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	プレースメントテストについては、自分の実力を反映させるために特に準備せず臨んだ。受講環境は、実家に帰省して受講したので受講中に誰かの邪魔が入ることがないよう、家族にプログラムの時間を伝えるなどした。また、申し込みなど事前に一人でやらなければならない作業があったが、それについてはお知らせや説明を慎重に読んでミスのないように気を付けた。

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input checked="" type="checkbox"/> その他（バーチャルツアー）
クラス参加人数	20名以上
学習時間/日	3~4時間
授業・アクティビティの概要 ※200字以上	<p>（1日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など）</p> <p>授業は週4日、8:30~10:30 または 9:30~11:30 の2時間で、Conversation partner とのアクティビティが授業前後の1時間か、夜 20:00~22:00(週1日)に行われた。このほか、金曜日に pronunciation clinic があった。</p> <p>授業内容はカナダの動物・食べ物・言語を学んだり、ディスカッションやプレゼンテーションをしたりした。Conversation partner とのアクティビティは、バーチャルツアーでモントリオールの町を案内してもらったり、ブレイクアウトルームに分かれて一緒に話したりした。</p> <p>課題の量は日によったが、プレゼンの準備を週1回、他のクラスメイトと協力して行わなければならない、その日(たいてい水曜日)はスライド作りとクラスメイトとの練習で合計5時間くらいやっていたこともあった。一方で1時間かからずに終わる課題量の日もあった。課題内容は主にリスニング、プレゼンの準備、スピーキングだった。スピーキング課題はスクリプトを用意せずに行うように指示があり、スピーキング力を上げるのにつながったと思う。</p>
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200字以上	<p>（講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど）</p> <p>最も印象的だったのは、授業で発言する機会がとても多いことだ。頻繁にブレイクアウトルームに分かれ、クラスメイトと答えの照らし合わせやプレゼンの準備をしなければならなかったし、全員がいる場でも先生が発言をうながすことが多くあった。Conversation partner とのアクティビティでも必ず全員話せるように話を振ってくれた。受講者はテストの結果だいたい同じくらいのレベルの学生が集まっていたはずだが、同じ学年なのに発音が上手かったり語彙が豊富だったり、積極的に発言していたりする学生には特に刺激を受けた。</p>
参加学生のサポート体制について	<p>（プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など）</p> <p>プログラム参加前に不安なことがあり国際教育交流課に連絡したことがあったが、すぐ返事をいただけたのでありがたかった。</p>

--

4 プログラム参加を振り返って

満足度	4.やや満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
<p>プログラムで得られた成果 ※300字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)</p>	
<p>スピーキング力はある程度向上したと思う。間違っても案外相手には伝わるし、先生は発音などは直してくれることもあるので、間違いを恐れずにとりあえず話してみることができるようになった、というのが最も大きな収穫だった。嫌でもスピーキングの機会が多く得られるので、その点ではとても良かった。リスニングの機会も多く、夏休み中に英語力を落とさないことはできたと思う。プレゼンやディスカッションができたのもありがたかった。リーディングの機会はほとんどなかったが、個人的には、このプログラムに参加するにあたりリーディング力を向上させることは重視していなかったため、それほど残念には感じていない。</p> <p>授業を通して、カナダの文化やマギル大学のあるモンリオールの町についてはよく知ることができた。派生して日本の文化を再確認したり、受講生の中に中国の方もいたため中国についても知識を得ることができたりした。</p> <p>1 つ残念だったことを挙げるとすれば、受講者同士の授業外での交流が少なかった点である。Conversation partner が最後のクラスでインスタグラムのアカウントを教えてくれたことで、そこから数人の受講者とはインスタグラムで繋がることができたが、それ以外は今後交流を持つことができないと思う。期間中も授業時間外で受講者と関わったのはプレゼン準備くらいだった。</p>	
<p>今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス</p>	
<p>日本にいるとなかなか得られないスピーキングの機会が多くあるので、スピーキングに不安がある方は受講するのを勧めたい。伝わるか不安でも、案外なんとかなるのであまり心配しなくても良いと思う。</p> <p>また、一回生で参加する人は少ないかもしれないと思っていたが、私のクラスには案外多くいて刺激をもらうことができたので、一回生でもぜひ参加してほしい。</p>	

2022 年度短期派遣プログラム（オンライン）－英語研修－ 参加報告書

所属学部/研究科	薬学部
課程・学年	学部・6 年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 173,000 円
実施期間	8 月 8 日（月）～8 月 26 日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	5.とても有意義だった
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100 字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
<p>私がオンライン留学プログラムの参加を志望する目的は英語のスピーキング力を向上させたいからです。私は来年の 4 月から製薬企業の研究職として働く予定ですが、仕事に英語を多用します。よってこの 1 年間でできる限りの努力をして英語力を上げたいと考えています。来年の春には現地の留学を予定していますが、現時点で私は特にスピーキング力が足りないため、本プログラムの実践的なカリキュラムを通して英語を積極的に話し、スピーキング力を向上させたいと考えています。</p> <p>中でもカナダ マギル大学のプログラムを選択した理由は 2 つあります。1 つ目は説明会を通してバーチャルツアーやバーチャルホームステイに興味を抱き、カナダの方々の文化や暮らし方、価値観をより深く知りたいと思ったからです。2 つ目は本プログラムの実施期間は研究室との両立が可能であり、全日程参加できる唯一のプログラムであったからです。</p>	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
<p>英語に関しては特に準備は行いませんでした。</p> <p>オンラインツールに関してはヘッド付きマウスを準備しました。</p>	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	20名以上
学習時間/日	3~4時間
授業・アクティビティの概要 ※200字以上 (1日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	ケベックの文化について学んだ。 1週目はカナダの動物について、2週目はカナダの食文化について、3週目はカナダの言語について学んだ。授業は基本午前8時30分から午前11時30分まで行った。水曜だけ午後8時から10時まで現地の学生さんとフリートークを行った。課題は主にスピーキングの録音を提出するもので、2-3時間あれば遂行できたが、週1回木曜日にミニプレゼンテーションをする機会があり、その準備に関しては3時間以上かかった。
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	先生はゆっくり話してくれるため、授業中の英語を聞き取るのに思ったほどは苦労しなかった。参加者はほぼ日本人だったが、数人中国人がいた。Zoomでの授業だったので、頻繁にブレイクアウトルームに移動して学生同士でディスカッションを行った。日本人の英語は聞き取りやすかったが、中国人の英語は慣れるのに時間がかかった。ネイティブ以外のスピーカーの話し口調に慣れるのも重要だと思った。現地の学生さんとのミニゲームがとても楽しかった。現地の学生さんは先生より話す速度が早かったので、聞き取るのは授業よりも大変だったが、日常英会話の速度やテンポを掴むのにはとても役立った。
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	
参加学生とは LINE やメールアドレスを交換し、課題についてやりとりをした。	

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	5.とても効果が感じられる
プログラムで得られた成果 ※300字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	
リスニング力がとても向上した。TOEIC などの試験勉強だけでは学べない会話のテンポを講師や学生	

同士のライブの会話を通して掴めると、自ずと英語が聞き取れるようになったと感じている。今までは英語を日本語で変換して理解していたが、英語のまま理解できるようになった。スピーキングに関しては、自分がとても引っ込み思案なところがあるため、発言の頻度が多かったわけではないが、発音の授業や課題を通して以前よりもイントネーションなどが上手くなったと思う。自分が考えていることを瞬時に英語にするにはまだ練習が必要だと感じているが、英会話の流れ、発言のコツなども授業で教われたのは今後に活かせると思った。

また、今回のプログラムは自身の英会話スキルを向上させるのを第一の目的として受講したが、異文化を学べたことがとても有意義だった。英語を通して異文化に興味を持つこと、もっと知りたいと思う気持ちが英語を聞き取りたい、話したいというモチベーション向上につながった。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

私は研究室に所属しており、現地に留学するまとまった時間が取れない状況でした。そんな中でオンライン留学の存在を知りました。夏休みなど研究室のセミナーがない期間は研究と留学の両立が十分可能であることを今回のプログラムを通して実感できました。さらに、このプログラムでは英語を使う時間は十分確保できるので、現地に行かずとも必ず英会話スキル向上の効果は現れると思います。

研究のブランクを作ることなく、英語に触れる機会を増やしたいと思っている方はこのプログラムはとてもおすすめです。

2022 年度短期派遣プログラム（オンライン）－英語研修－ 参加報告書

所属学部/研究科	法学部
課程・学年	学部・1 年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 197,000 円
実施期間	8 月 8 日（月）～8 月 26 日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	0.参加していない
応募・申込手続き	3.どちらともいえない
参加を希望した理由 ※100 字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
2 カ月間という長い夏休みに、せっかくなので有意義な時間を過ごしたいという思いでオンライン留学を決めました。また、アカデミックな英語プログラムに参加できるほどの英語力があるか自信があまりなかったため、本プログラムを選択しました。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
正直あまり準備はしていません。	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input checked="" type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	20 名以上
学習時間/日	5 時間以上
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
このプログラムはカナダやケベックの文化について学びながら、英語のリスニングやスピーキング技能向上をはかるというものでした。授業は平日の朝の 8 時半から 2 時間もしくは 3 時間あり、夜 20 時から 2	

時間ほど授業がある日もありました。授業がない昼の時間にはプレゼンの準備をしたり、翌日までの宿題をしたり、グループ課題に向けてミーティングをしたりしました。学習テーマは週ごとに決められており、動物、食べ物、言語のそれぞれについて、さまざまな課題を通じて理解を深めました。プログラムの参加者は25人ほどと多めでしたが、授業中は何度も3、4人ほどのブレイクアウトルームに分けられ、英語で意見交換をしたり、プレゼンの準備をしたり、課題と一緒に取り組んだりしました。またマギル大学の生徒の方々が大学やモントリオールの街を案内してくれたり、一緒にゲームをしたり好きなことを共有しあったりする Conversation Partner Time というものもありました。

授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200字以上

(講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)

参加学生は皆意欲的で、講師の方が発言を求めるとすぐさま何人も生徒が反応していたことが印象的です。日本における授業ではなかなかプレゼンをする機会はありませんでしたが、このプログラムでは週に1回以上は個人もしくはグループでのプレゼン課題が課せられました。オンラインでのプログラムということもあり、Wi-Fi 接続の問題などから他の参加者の発言が聞き取りにくいという問題が生じることがまれにありましたが、概ねトラブルなどはありませんでした。

参加学生のサポート体制について

(プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)

サポート体制は整っていました。

4 プログラム参加を振り返って

満足度	4.やや満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	4.まあまあ効果が感じられる

プログラムで得られた成果 ※300字以上

(英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)

3週間授業内外でたくさん英語を聞き、話したことで以前よりもすらすらと英語が出てくるようになったのを感じます。また、講師や現地学生、ほかの参加者の英語を注意深く聞き、使えるような英語表現をメモにとっておき、授業内でたくさんアウトプットしていくことで、定型化しがちなリアクションなどの表現の幅を広げることができたようにも感じています。録音データを提出するスピーキングの課題では自分の英語を何度も聞き返すことになり、繰り返し使いがちな表現や、つまったときに出る癖など課題に気づくことができました。

一方でコロナ禍ということも関係しているのか、英語レベルによるクラス分けがなかったのが残念です。プログラムを通して学ぶことは山のようにありましたが、もう少し高いレベルの生徒が集まったクラスだともっと自分の英語力は伸びていたのではないかと思います。また、時差等の問題から生徒は大多数の日本人と数人の中国人といった感じで、オンラインだからこそ世界各地の様々な国にいる参加者に会えるのではという期待を持っていただけに少し残念に感じました。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

オンライン留学は自分がいる環境が変わらないためやはり実際に行くのと比べて効果は低くなってしまいがちですが、プライドや恥じらいを捨てて、1分1秒も無駄にしない気持ちで学びに行けば、大変有意義な3週間になると思います。

2022 年度短期派遣プログラム（オンライン）_英語研修

2022 年度短期派遣プログラム（オンライン）－英語研修－ 参加報告書

所属学部/研究科	医学研究科
課程・学年	修士・1年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 179,000 円
実施期間	8月8日（月）～8月26日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	4.有意義だった
応募・申込手続き	5.とてもわかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
・今後の英語の資格試験受験にあたり、特にスピーキングに関する練習の機会が必要と感じていたため。また、英会話以外にも、ディスカッションやプレゼンテーション等に有用なプログラムを選択したいと考えていたため。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
・ヘッドセットの購入。他、特段準備は行っていません。	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	20名以上
学習時間/日	3～4時間
授業・アクティビティの概要 ※200字以上 (1日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
・平日午前2時間（リスニング・スピーキング、発音）の講義 + Conversation Partner との交流	

<p>が週3日1時間～2時間。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義に関しては、おおむね毎回小さい課題（リスニング、スピーキング、グループでのプレゼンテーションに向けた準備等）が課されました。 ・グループでのプレゼンテーションが各週に1回、ディスカッションが最終週に1回ありました。 ・Conversation Partnerとのアクティビティは、言語に係るゲーム・現地ガイド・交流等を企画して頂いていました。
<p>授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本8割、中国2割ぐらいの学生参加と感じました。 ・講義の多くは、ブレイクアウトルーム内での学生同士の話し合いが占めていました。(全員でリスニングを行った後にグループでの確認・ディスカッションや、事前に準備されたディスカッションテーマでアイスブレイク等。) そのため、必然的に英語を話す機会が増えました。他の学生に比べスピーキングスキルの差を感じたため、他の学生が使っている表現等を習得する良い機会だったと感じています。 ・グループでの作業があるため、パワーポイント等のデータ共有がスムーズに行えると良いと思います。
<p>参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困った時の連絡先（メール・電話）を事前に周知して頂いていました。大きなトラブルはありませんでしたが、有事の際は教員にメールをすると基本的にすぐレスポンスを頂きました。

4 プログラム参加を振り返って

満足度	4.やや満足
難易度	4.難しかった
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
<p>プログラムで得られた成果 ※300字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語に関して得られた効果は下記2点です。 <ul style="list-style-type: none"> 1つ目は、リスニング・スピーキングスキルの向上です。特に、課題等を通して、プレゼンテーション等で有用な表現や語彙、リスニングスキルの向上を感じています。スピーキングに関しては原稿を用意せず話すため、かなり難しく感じましたが非常に良い練習になりました。課題に取り組むたびに、表現の幅の狭さ等新たな課題にも気づけたように思います。 2つ目は、各能力の向上以上に、英語を話すことへの抵抗やハードルが下がったことです。英語に関しては、この3週間の学びや教わったことをベースに今後継続して学んでいく必要があると感じていま 	

す。

・カナダの街・文化についても講義内・アクティビティの中で触れる機会があり、現地に対する興味が湧きました。アクティビティを担当してくれた現地学生の方と連絡先の交換をしました。今後も連絡や関わりが続くと良いなと思います。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

・先生の関わりも、プログラム自体も、英語で話しやすいテーマや内容であったと思います。最初から非常に高いスキルや完璧な英語は求められていないので、苦手意識があっても参加しやすいかと思います。折角、英語のみで過ごす時間と機会なので、とにかく積極的に話す・参加する姿勢が大事かと思いました。

2022 年度短期派遣プログラム（オンライン）－英語研修－ 参加報告書

所属学部/研究科	農学研究科
課程・学年	修士・2年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 173,000 円
実施期間	8月8日（月）～8月26日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input checked="" type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	4.有意義だった
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100 字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
私は将来グローバルで働きたいと考えています。学部 1 年生の時にはバンクバーに短期留学をし、カナダの文化をもっと知りたいと思いました。本プログラムでは、カナダの文化をより深く理解するだけでなく、高い英語力を短期間で身に付けられることに魅力を感じたため参加を決意しました。加えて、大学院から京都大学に入学した私にとって、マギル大学の学生だけでなく、京都大学の学生とも交流が取れる点にも魅力を感じました。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
特になし。	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input checked="" type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他
クラス参加人数	16～20 名
学習時間/日	3～4 時間
授業・アクティビティの概要	※200 字以上

<p>(1日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)</p>
<p>プログラムの内容は主に3つありました。</p> <p>① 通常授業</p> <p>② Pronunciation Clinic (発音に特化した授業)</p> <p>③ Conversation Partner Time (マギル大学の学生との交流)</p> <p>まず通常授業について、月曜日から木曜日の日本時間 8:30~10:30 に行われました。1週目にカナダの動物について、2週目にカナダの食について、3週目にカナダの言語について、さらにグループディスカッションおよびプレゼンテーションを行いました。1、2週目はそれぞれ動物および食についての動画や、リスニングの課題を通じてカナダの動物および食についての理解を深め、各週の4日目には1チーム3人のグループに分かれ、プレゼンテーションを行いました。3週目は、1日目と2日目にカナダの言語について同様に理解を深めたのち、3日目には1チーム3人のグループに分かれ、ディスカッションしたい内容をグループごとに決めディスカッションをしました。4日目には“Pecha Kucha style”というプレゼン様式を用いて、同様に1チーム3人でプレゼンテーションを行いました。</p> <p>次に Pronunciation Clinic について、金曜日の日本時間 8:30~10:30 に行われました。単語の音節やLとRの発音についてゲームを通じて学び、音節についての理解を深めるための宿題として俳句なども作成しました。</p> <p>最後に Conversation Partner Time について、マギル大学および大学周辺を案内するツアーと、英語を使った様々なゲームの2つを主に行いました。ゲームについては、カナダの学生が1人に対して参加者が6人ほどのブレイクアウトルームに分かれてゲームを行いました。いずれもリラックスして参加できるものでした。</p>
<p>授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200字以上</p> <p>(講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)</p>
<p>2つあります。</p> <p>まず講義の様子に驚きました。日本では座学で受け身な講義が多い印象ですが、本プログラムの講義では頻繁に発言を求められました。そのたびに、どのような表現が適切に伝わるのかを考えることができ、とても刺激になりました。</p> <p>次に宿題の提出方法について驚きました。カナダの動物や食についての動画などを見てその動画の内容を要約し、それを音読み録音して提出するものでした。自分の声を録音したものを提出した経験がなく、この提出方法に驚きました。さらに発音についての評価欄もあり、日本では経験しない英語圏ならではの評価基準だと感じました。</p>
<p>参加学生のサポート体制について</p> <p>(プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)</p>
<p>不明点をメールした際の対応が早かったと思います。特に不満はありません。</p>

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
<p>プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)</p>	
<p>リスニングスキルとライティングスキルが向上したと感じました。</p> <p>まずリスニングスキルについて、本プログラム期間中の宿題等で何度も聞き返し解答していました。難易度が高いことや、話す速度が速いことなどに苦労しましたが、何度も繰り返しリスニングをすることで次第に理解できるようになり、リスニングスキルが身についたと感じました。</p> <p>次に、これらのリスニング教材を 1 分ほどで要約する際のライティングスキルが身についたと感じました。課題の動画の内容を 400 words 前後でまとめる必要があるため、端的に要点だけを絞ってまとめ、さらに同じ言い回しをしないことを心掛けたので、表現の幅が広がると共に、短期間で 400 words 前後の分量の要約することに抵抗がなくなりました。</p> <p>しかし、スピーキングスキルは予想以上に向上しませんでした。現地に行く短期留学と比べると、授業時以外に英語を話す機会が少なかったことが原因だと考えました。TOEFL や IELTS などの教材を利用しながら自己学習をするとより効果的にスピーキングスキルが向上していたと思います。</p>	
<p>今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス</p>	
<p>学生生活はあっという間に終わってしまうと思うので、少しでも興味があることには積極的に行動してみるといいと思います。オンライン留学はコロナ渦の学生しか経験できないことなので、とても貴重な経験が出来たと私は思います。</p>	

2022 年度短期派遣プログラム（オンライン）－英語研修－ 参加報告書

所属学部/研究科	経済学部
課程・学年	学部・3年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 173,000 円
実施期間	8月8日（月）～8月26日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	0.参加していない
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100 字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
オーストラリアのメルボルン大学への交換留学が決まっていたものの諸々の事情で行けなくなってしまったなか、比較的時間のある夏休みを活かして、コロナ禍を避けながらも現地の英語を学ぶ機会に触れたと考えたため。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
オンライン留学開始前には、授業で必要となるだろウリスニングを重点的に勉強して備えた。	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	20 名以上
学習時間/日	3～4 時間
授業・アクティビティの概要	※200 字以上

(1日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
<p>月曜から金曜まで午前中に2時間のクラス(8:30-10:30 金曜は発音のクラス)</p> <p>週4で各1-2時間の conversation partner との交流(週一日は夜開催)</p> <p>ほぼ毎日1-2時間要する宿題がでるが、期限も2日間程度あるので、日中はその他の用事をこなすことも可能。内容は、リスニングやスピーキングの課題や、次の日の授業で行うグループのプレゼンテーションの準備を行う。パートナーとの交流の時間では、現地の学生が zoom の各ブレイクアウトルームに参加して会話やゲームを行う。</p>	
<p>授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200字以上</p> <p>(講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティの違い、参加中のトラブルなど)</p>	
<p>学生は、日本人だけではなく、24人中5人程度中国人がいるクラスだった。対面の短期派遣プログラムであれば、授業の前後に他の日本人との日本語での交流があるかもしれないが、zoom を使用しているためクラスの時間以外でのクラスメートとの交流はあまりないので、ほぼ英語でのやりとりが多かった。その点では、コミュニケーションを構築するのに苦労するかもしれない。</p> <p>日本の授業と比較すると、失敗やミスを許容するような雰囲気なので、そういうことを気にせずに次々と発言することができるクラスだった。</p>	
<p>参加学生のサポート体制について</p> <p>(プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)</p>	
<p>私自身は特に問題に見舞われなかったのですが、詳しいことは分からないが、アカウントなどの問題のあったクラスメートはコーディネーターが対応してくれていた。</p>	

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
<p>プログラムで得られた成果 ※300字以上</p> <p>(英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)</p>	
<p>プログラムの中では、リスニングの分野が最も向上した分野だと感じた。というのも、授業のすべては英語で行われているため、3週間にわたって毎日3時間以上は実際にコミュニケーションのなかで英語を使用していて、そのような経験は日本ではあまりしないと思うので、このプログラムを終えるだけでもそれなりのリスニング力の向上は見込めると思う。スピーキング力については、リスニングと比べると各生徒が話す時間は聞いている時間よりも短いので、ある程度限定的にはなってしまうようには思うが、それでも個人のやる気次第で発言する機会を増やせるので、どれほど向上するかはその部分に左右されると思う。</p>	

授業では、カナダの動物や食べ物などについて学んだ。特に食べ物の回では、知らない料理が多く出てくるので、実際にカナダに行ったような気分でカナダの文化を理解する授業を受けられると思う。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

オンライン留学ということで、コロナを避けたい人や、他の活動で忙しい人も参加できるプログラムなので、英語力を向上させたい人は大学からの費用補助もあるので参加するのがいいと思う。

2022 年度短期派遣プログラム（オンライン）－英語研修－ 参加報告書

所属学部/研究科	農学部
課程・学年	学部・3年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 173,000 円
実施期間	8月8日（月）～8月26日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input checked="" type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	0.参加していない
応募・申込手続き	3.どちらともいえない
参加を希望した理由 ※100 字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
英語を話す機会を探していたが持病があり保険の準備と日本での用事に不安があったのでオンラインプログラムを選択した。英語だけでなく異文化についても詳しく知りたいと考えたのでモントリオールの文化を学べるとあったマギル大学のプログラムを選択した。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
マギル大学にどのような学部があるか調べ、プログラムに向けヘッドセットを購入した。	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20 名

学習時間/日	3~4 時間
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
<p>ディスカッションやプレゼンテーションがテーマの授業ではディスカッションで役立つフレーズや注意事項を学んだ上で与えられたテーマで議論してプレゼンテーションを行った。ディスカッションは授業時間に済ませプレゼンテーションの資料作りや練習は授業後に個人でズームやメールでやり取りした。課題は難易度が3段階あるリスニング課題、与えられたテーマについてスクリプトなしで2分話す課題、聞いた内容を自分の言葉で言い換える課題の三種類あった。リスニングは一度に複数の課題が出され最も成績の良かった課題が評価対象になった。</p> <p>発音矯正の授業では文節を学んで英語で俳句を作ったりお互いの発音を評価しあうアクティビティを行った。課題は俳句を提出するのみだった。</p> <p>Conversation Partner Time ではマギル大学の学生によるバーチャルツアーや会話、ゲームを行った。</p>	
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	
<p>翌日の授業までにテーマと資料を用意してプレゼンテーションを行う機会が多くやや大変だった。中国の学生は SNS の利用が制限されていることもあり授業外での会話に苦労した。その中でもメールで時間を調整しズームを開いたり工夫してプレゼンを完成させていたのが印象的だった。日本を含め様々な大学の学生からそれぞれの大学や学生生活について学べたのが面白かった。</p> <p>ただズームを利用した形式だったことと日本とカナダの時差があったのでカナダの学生とは授業時間とブレイクアウトルームの制限の中でしか話し合えなかったのは残念だった。個人で集まって話したりしたかったが工夫できなかつたのが残念だった。</p>	
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	
<p>コーディネーターや先生がメールでトラブルに対応してくれた。日本の学生は LINE で中国の学生とはメールでやり取りして助け合った。</p>	

4 プログラム参加を振り返って

満足度	2.やや不満
難易度	2.あまり難しくなかった
学習効果	3.どちらともいえない
<p>プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)</p>	
<p>発音矯正の授業で文節、ストレス、言葉の繋がり復習できたのでスピーキングの苦手意識がやや軽減した。更に現地学生と交流する時間があったので実際にネイティブが使うフレーズを学べたので話す際の違和感が少なくなった。</p> <p>オンラインツアーではストリートアート、ショッピング街、BIXI などモントリオールの街中の様子が見られたので現地を探索したような感覚だった。現地学生がその都度説明を加えてくれたのでよりモントリオールの文化、生活の理解が深まったと思う。</p> <p>プレゼンテーション作成の機会が多かったので仕事分担や試料作製のため授業外で自主的にオンラインで相談することが多かった。メールやズームでやり取りを行うことに慣れたと感じた。</p>	
<p>今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス</p>	
<p>授業や文法事項を学ぶこと、オンラインでのやり取りの体験として本プログラムをお勧めします。ただ現地の方と個別に話して実際の言い回し等を学びたいならばオンサイトのプログラム受講を勧めます。</p>	